

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域 中山間地域 取組の方向 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
担当課	中山間地域振興課	
事業名	ひろしま里山・人材力加速事業（単県）【一部新規】	

目的

これまで発掘・育成してきた中山間地域の地域づくりリーダーの活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、資金調達支援や人材のネットワーク化を進めるとともに、多様な人材の確保に向けて、活動参画への一層の機運醸成を図る。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
新たな人材の育成・機運醸成【一部新規】	リーダー育成塾の開講 ・地域づくりのノウハウを学ぶ 「ひろしま ひと・夢 未来塾」の開講（第8期） 地域づくり関心層の活動機会の提供【新規】 ・地域づくりに関心が高い層の「ひろしま里山・チーム500」への登録を促進するため、「ひろしまさとやま未来博2021」の参加者などへの地域づくり活動に加わる機会等の提供 幅広い活動実践に向けた機運醸成 ・里山資源を生かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施	19,858	19,537	19,339 []
チーム500を活用した活動の活性化	中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営 ・登録者の地域づくり活動情報の発信 ・実践者間の交流促進 ・地域内外の人材をつなげるウェブサイトの運営 新たな活動支援のための環境整備 ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言 等 ・自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング活用支援 相談窓口「サポートデスク」の運営	12,865	12,517	12,395 []
合 計		32,723	32,054	31,734 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指標名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
チーム500の新規登録者数	46人	75人	114人

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

「ひろしま ひと・夢 未来塾」の受講者に対する登録の働きかけに加え、登録者からの働きかけによって新たな登録者が増える好循環が生じていることから目標値を上回る登録者数となった。

令和5年度の実行方向

中山間地域の課題解決に取り組む人材は着実に増えてきており、引き続き、「ひろしま ひと・夢 未来塾」等の事業を通じて、コミュニティビジネスのみならず、地域に根差した活動などに取り組む人材の確保を行うなど、将来を担うリーダーの育成や交流を促進する。あわせて、地域づくりに取り組む人材の裾野を拡大するための「地域づくり活動体験促進事業」の実施等により、多様な人材の確保に取り組む。

「ひろしま里山・チーム500」については、中山間地域で地域づくりに取り組む人や活動をつなぐプラットフォームとして、その活動を継続・発展させるため、チーム500登録者の少ない地域に潜在する地域づくり実践者層の掘り起こしとつながりづくりの実施、産学金官で構成するさとやま未来円卓会議やサポートデスクによる相談対応などを通じて、地域づくり活動の後押しに努める。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域	中山間地域
担当課	中山間地域振興課	取組の方向	人材の発掘・育成，ネットワークの拡大
事業名	元気さとやま応援プロジェクト（単県）【新規】		

目的

中山間地域に暮らす人々が将来に向けて、地域の元気さを実感できる環境を創出するため、地域づくりに取り組む人材のプラットフォーム『ひろしま里山・チーム500』（以下、「チーム500」という。）の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の立ち上げに必要な経費に対して、支援を行う。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

（単位：千円）

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援 【対象者】チーム500の登録者 【対象活動例】 ・地域住民との接点の拡大を図るコミュニティ支援活動（防犯、災害支援活動、伝統的祭事の復活 など） ・仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動（遊休施設等を活用したカフェでの高齢者サロンの開催、耕作放棄地で栽培した農作物を原料とした加工品製造における地域雇用 など） 【補助率】補助対象経費の2/3 （補助上限額1,000千円）	53,260	63,260	56,438 []
合 計	53,260	63,260	56,438 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 （令和2年度）	目標値 （令和4年度）	実績値 （令和4年度）
チーム500の新規登録者数	46人	75人	114人

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

令和4年度に設けた当該プロジェクトを活用し、チーム500登録者が新たに立ち上げた地域と協働した活動は、68件となり、地域住民同士の交流拡大を図るコミュニティ支援や、仕事づくり

を通じた地域との新たなつながりを生み出す活動が展開されている。

また、チーム500登録者に対する支援制度全般の周知などに取り組んだ結果、令和4年度におけるチーム500新規登録者数114人のうち21人が当該プロジェクトをきっかけとして登録し、地域づくり実践者の掘り起こしにつながった。

こうした取組により、中山間地域に暮らす人々が将来に向けて地域の元気さを実感できる環境を創出できるよう、今後とも市町と連携して積極的に支援していく必要がある。

令和5年度取組方向

引き続き、中山間地域の将来における担い手となることが期待されるチーム500の登録者が、地域を巻き込んで新たに行う活動の立ち上げに必要な経費を支援するとともに、支援対象となった様々な取組事例を登録者に情報提供し、新たな取組が次々と起こる状態を目指す。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	領域	持続可能なまちづくり
担当課	都市圏魅力づくり推進課	取組の方向	人を惹きつける魅力ある都心空間の創出
事業名	都市圏魅力創造事業（単県）		

目的

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進する。

事業説明

対象者

広島市、福山市、県民等

事業内容

広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携して取り組む。

備後圏域の活性化につながる福山駅周辺の魅力の向上を目指して、福山市と連携して取り組む。

（単位：千円）

区分	内容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
魅力的な 都市環境 形成事業	広島市 広島都心部のまちづくりの推進 ・エリアマネジメント団体の活動支援などを行う 広島都心会議の取組を支援	2,500	2,500	2,500 []
	福山市 福山駅周辺地区のまちづくりの推進 ・エリアの価値を高める開発の促進に向け、具体的手法を検討する地権者などを対象として、市が開催する勉強会などの取組を支援	1,500	1,500	1,500 []
	共通 先進事例調査・有識者ヒアリング等 ・広島及び福山における都心活性化の課題や促進策を検討するため、先進事例の調査・検討などを実施 街の魅力の向上に向けたデザイン活用の促進 ・街の魅力の向上に向け街の付属物等をデザインする取組などを実施	3,369	3,369	2,912 []
	合計	7,369	7,369	6,912 []

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：

指 標 名	基準値 (平成28年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
ひろしま都心活性化プランの実現に向けて広島市と連携した取組件数(累計)	5件	12件	13件
福山駅前の再生に向けて福山市と連携した取組件数(累計)		5件	6件

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

広島市都心部については、令和2年9月に広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区が広島都心地域へ統合され、その一部が特定都市再生緊急整備地域に指定されたことで、民間の開発機運も喚起され、令和4年には、基町相生通地区第一種市街地再開発事業が都市計画決定・施行認可されたほか、複数の再開発事業の検討の動きも見られた。また、国土交通省の「官民連携まちなか再生推進事業」の採択を受けて、未来ビジョンの策定などに取り組む団体があるなど、エリアマネジメント活動が動き始めている。

こうした中、令和3年度に、地域の方々、事業者、民間企業、エリアマネジメント団体等の様々な関係者や行政が一体となって継続的にまちづくりを推進していく「広島都心会議」が設立され、ひろしま都心活性化プランの実現を目指し、エリアマネジメント団体等の支援や、広島都心を俯瞰した具体的な戦略を描くビジョンの検討などの活動を広島市と連携して支援した。

福山駅周辺地区については、「福山駅前再生ビジョン」及び「福山駅周辺デザイン計画」に基づく公民連携プロジェクトが推進されるように、福山駅前デザイン会議等に参加するなど、県市で取り組み、令和4年度末に「福山駅前広場整備基本方針」が取りまとめられた。

また、三之丸町周辺エリアでは、旧カスパ地区で南棟の工事に着手し、令和5年度末の竣工に向けて着実に進んでおり、福山駅前の拠点性向上に向けて、福山市と連携して取り組んでいる。

令和5年度を取組方向

広島市都心部においては、「広島都心会議」が行う、エリアマネジメント団体等の支援や、広島都心会議が策定するビジョンに掲げる取組を支援していくことを通して、ひろしま都心活性化プランに掲げる都心の将来像の実現に向けて、広島市と連携して取組を進めていく。

福山駅周辺地区においては、エリアの価値を高める開発の促進に向けて、具体的な手法の検討を行う勉強会の開催や、三之丸町で備後圏域の賑わいづくりを牽引する施設を整備する事業者の支援など、「福山駅前再生ビジョン」及び「福山駅周辺デザイン計画」の実現に向けた福山市の取組を支援していく。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業（単県）

目的

中山間地域の魅力向上を図るため、鉄道網を地域資源として活用し、中山間地域ならではの地域交流の拡大や地域の利便性向上に取り組む市町・沿線協議会等を支援する。

事業説明

対象者

鉄道網を活用し、地域交流の拡大等に取り組む市町・沿線協議会等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
鉄道網を地域資源として活用した、地域交流の拡大等の取組への支援 ・鉄道を活用した広域観光の促進 ・鉄道路線・駅舎を活用したイベントによる地域の魅力発信 ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上 《対象路線》JR芸備線、JR福塩線 《補助団体》芸備線対策協議会、福塩線対策協議会等 《支援額》上限10,000千円 移動データ分析も踏まえた鉄道への転換・創出に係る施策検討	27,000	20,149	13,275 []
合 計	27,000	20,149	13,275 []

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：鉄道の利用者数の維持

(平均通過人員)(単位：人/日)

路線	基準値 (平成29年度)	参考値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
福塩線(福山～塩町)	2,254	1,716	2,254	(未公表)
芸備線(備中神代～広島)	1,705	1,106	1,705	(未公表)

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

地域交流の拡大等の取組について、JR福塩線では1団体が6事業、JR芸備線では4団体が14事業を実施した。JRによる一部期間中の増便との相乗効果もあり、一部の区間では利用者数が新型コロナ前の利用状況まで回復しつつある(路線全体の利用者数は公表前)。

令和5年度の取組方向

日常利用者の増加に向けた地域交通の利便性向上及び沿線市町間の交流喚起の両面に、沿線市町と連携し取り組む。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費	領域	持続可能なまちづくり
担当課	交通対策担当	取組の方向	ネットワーク及び交通基盤の強化
事業名	広島県地域公共交通ビジョン策定事業（単県）【新規】		

目的

持続可能な地域公共交通の実現に向けて、県、市町、交通事業者、利用者などの全ての関係者が、公共交通の「目指す姿」とその実現に向けた方向性を共有し、一体的に取り組んでいくことが重要であるため、県全域を対象とした地域公共交通政策のマスタープランとして、「広島県地域公共交通ビジョン」を策定する。

事業説明

対象者

県民、交通事業者、行政（国、県、市町）等

事業内容

（単位：千円）

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
広島県地域公共交通ビジョン策定に向けた協議会 設置・実態調査 協議会の設置 ・県民代表、交通事業者、行政による 法定協議会の設置 ・個別ワーキンググループの開催 県内交通状況調査 ・県内交通の現況と課題把握のための実態調査 将来予測調査 ・需給予測等、将来の変化を捕捉するための調査	50,000	47,506	45,683 []
合 計	50,000	47,506	45,683 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
拠点間のバス路線が維持された市町数	23 市町	23 市町	23 市町

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

新型コロナの影響により、引き続き公共交通は厳しい状況が続いているものの、各種の補正予算対応により、拠点のバス路線の維持が図られた。今後も人口減少による利用者の減少と、それに伴う交通事業者の収支悪化、行政負担の増加といった構造的な課題に対応していくため、市町をはじめ、利用者、交通事業者といった関係者と引き続き協議しながら、広島県地域公共交通ビジョンの策定に一体的に取り組んでいく必要がある。

令和5年度の取組方向

令和5年4月に取りまとめた広島県地域公共交通ビジョンの目指す姿やその実現に向けた施策の方向性に基づき、今年度は具体的な施策や指標について引き続き議論を重ね、令和5年度内の策定に向けて取り組む。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>中山間地域</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>デジタル技術を活用した暮らしの向上</td> </tr> </table>	領域	中山間地域	取組の方向	デジタル技術を活用した暮らしの向上
領域	中山間地域					
取組の方向	デジタル技術を活用した暮らしの向上					
担当課	中山間地域振興課					
事業名	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【一部新規】					

目的

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを進める。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
実装への 取組支援	デジタル技術を活用したサービスを通じて中山間地域における身近な生活課題の解決を図る市町に対し、課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援を行う。【新規】 【実施内容】課題設定や課題解決のためのデジタル技術の選定支援、実装化に係る技術的助言、市町課題のセグメント化・共有化による取組の掘起し 等	20,000	19,514	19,514 []
	デジタル技術を活用したサービスの実装化に取り組む市町に対し、実装化に係る経費の一部を補助する。 【対象分野】生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など 【対象市町】課題解決に取り組む中山間地域を有する市町（市町による共同実施も可） 【補助率等】事業費の1/2	80,000	70,000	62,872 []
合 計		100,000	89,514	82,386 []

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
県の事業を通じ、デジタル技術を活用した課題解決に向けて取り組む件数 (累計)		6件	8件

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

令和4年度は5市町が「デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業補助金」を活用し、新たな生活サービスを導入した。

今後は、これまでの先行事例の情報提供などを通じた、後発市町の事業化の後押しを行うとともに、横展開につながる助言等に取り組んでいく必要がある。

令和5年度の実行方向

伴走支援を継続するとともに、令和4年度までに県の補助事業を活用していない11市町のうち3市町以上に、事業導入に向けた県による技術的な助言等の支援を実施することで、令和5年度中に新規2件（累計10件）の取組モデルの創出を図る。

これまで実装が完了した課題解決の取組モデル（8件）を、他地域へ普及展開するとともに、共通課題を抱えている市町における共同実施事業を推進することで、「スマート里山・里海」の実現につなげていく。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費 目：道路新設改良費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	広島西飛行場跡地活用推進事業（単県）

目的

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

事業説明

対象者

広島市、民間事業者

事業内容

広島西飛行場跡地利用計画に基づき、広島市と共同で関連事業に取り組む。

(単位：千円)

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
基幹道路の整備等 跡地活用に必要な交通アクセスの改善に向けた 道路整備に係る工事（河川側道路） 多目的スポーツ広場の整備 造成工事，上物整備工事 〔上記いずれも事業主体は広島市〕 （負担割合：県 1/2・広島市 1/2） 新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討 新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討経費	343,189	343,189	115,665 [227,076]
合 計	343,189	343,189	115,665 [227,076]

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：広島西飛行場跡地の有効活用

- ・広島西飛行場跡地への交通アクセスの改善に資する道路整備
- ・スポーツ・レクリエーション施設整備
- ・新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討

実績：

- ・跡地の円滑な交通処理の観点から、河川側道路の工事を推進した。
- ・スポーツ・レクリエーションゾーンは、多目的スポーツ広場の工事を推進した。
- ・新たな賑わいの創出に向け、新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用方針を検討した。

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

跡地の有効活用により広島都市圏の中枢拠点性向上を図るため、多目的スポーツ広場の着実な整備など、新たな賑わいが生み出されるよう、引き続き、取組を進めて行く必要がある。

令和5年度の取組方向

跡地の円滑な交通処理の観点から河川側道路について、令和5年度中の供用開始を目指し、引き続き着実に整備を行う。

多くの県民・市民が利用できる多目的スポーツ広場の整備を引き続き着実にを行う。

アフターコロナの社会情勢や周辺開発状況を踏まえた新たな賑わいの創出に向け、引き続き、広島市と連携して検討を進める。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	サッカースタジアム等整備事業（単県）【新規】

目的

広島都市圏における中枢拠点性の向上を図るため、多機能化・複合化による広域的な集客力のあるサッカースタジアム及び広場エリア等を広島市と連携して整備し、県全体の活性化につなげる。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

事業主体の広島市に対して、サッカースタジアム等整備経費（DB事業・P-PFI事業等）の一部を補助する。

（単位：千円）

内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
サッカースタジアム等整備事業(DB事業・P-PFI事業) スタジアム本体整備 スタジアム関連整備 ・ペDESTリアンデッキ整備 ・広場整備 発注準備・施工監理 埋蔵文化財発掘調査費 [負担割合] 広島市に措置される交付税相当額を差し引いた 実質自治体負担額の1/2	2,679,422	2,447,902	1,667,019 [330,861]
合 計	2,679,422	2,447,902	1,667,019 [330,861]

令和3年度2月補正予算を含む。

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：広島都市圏における中枢拠点性の向上

実績：令和4年2月からスタジアム本体の工事に着手し、令和6年2月の開業に向けて順調に工事が進んでいる。加えて、令和4年7月に県も参画する形で「中央公園エリアマネジメント協議会」が設立され、中央公園内の他施設との連携体制が構築されている。

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

スタジアムパークの整備に当たっては、中央公園広場の立地特性を生かしたスタジアムの多機能化や隣接する広場の複合開発により、広域的な集客効果を高め、県全体の活性化に繋がるものとなるよう、引き続き、広島市と連携して取り組む必要がある。

令和 5 年度の取組方向

令和 6 年 2 月のスタジアム開業、同年 8 月の広場エリアの開業に向けて、事業者提案内容が確実に実施されるよう、引き続き、広島市と連携して取り組む。

加えて、スタジアムと広場エリアの運営協議会や、中央公園エリアマネジメント協議会に参画し、エリア全体が相乗効果を発揮し都心の活性化につながるよう、広島市と連携して取り組む。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：住宅費 目：住宅振興費	領域	持続可能なまちづくり
担当課	住宅課	取組の方向	地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進
事業名	空き家活用検討事業（単県）		

目的

専門家派遣により、市町や地域が抱える課題を解決し、移住者受入れの基盤となる空き家バンクの充実等を支援することで、市町が取り組む空き家対策の推進を図るとともに、空き家バンクの効果的な情報発信により、移住希望者とのマッチングを促進する。

事業説明

対象者

空き家所有者、空き家活用に積極的に取り組んでいる地域の人、団体、市町

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
空き家活用 促進支援			
空き家活用推進チームによる市町・地域等への専門家派遣 市町や地域が抱えるボトルネックを解決するため、弁護士や建築士等の専門家を市町・地域等へ派遣し、課題別の勉強会を開催 ・空き家活用の支援 (活用可能な空き家の掘り起こし、改修方法等の技術的助言) ・老朽危険空き家の解消に向けた支援 (法律や税、不動産の専門家から専門的助言)	1,593	1,593	835 [-]
空き家バンクHPによる情報発信 県外の移住希望者のニーズに応じた情報発信を行い、移住希望者と市町等の空き家バンクとのマッチングを支援 ・空き家バンクHPの運営 (物件情報の更新、デジタルマーケティングを活用したWEB広告) ・空き家バンクHPの充実・強化 (空き家の活用事例や空き家を活用した移住者のライフスタイル事例のページの追加等)	7,845	7,845	7,841 [-]
合 計	9,438	9,438	8,676 [-]

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指標名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
県外からの移住者の空き家バンク成約数	80件	90件	52件

事業目標：

指標名	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
空き家バンクHPの 県外ユニークユーザー数 (県外UU数)	7,317 UU / 月	7,500 UU / 月	9,376 UU / 月

特定の期間内にHPを訪れた新規ユーザーの数

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

VR閲覧機能の実装などの空き家バンクHPの機能充実及びデジタルマーケティングを活用したWEB広告の実施により、空き家バンクHPの新規ユーザー訪問数は9,376UU / 月(目標比125%)と目標値を上回る結果となり、空き家活用への関心度の向上は図られた。

一方で、県外在住者の空き家バンク成約数は、新型コロナの影響による現地での物件確認の減少等のため、52件(目標比58%)と目標値を下回る結果となったが、県内在住者の空き家バンク成約数は、現地内覧など物件の確認が速やかに行えたことにより、279件(前年比113%)と増加した。

県外在住者において、空き家バンクを活用した物件検討が促進されるよう、ターゲット層との接点の確保や情報発信を強化する必要がある。

令和5年度の実行方向

県外在住者の空き家のマッチングを促進するため、デジタルマーケティングを活用したWEB広告や移住検討者向けの媒体(雑誌・HP)への記事掲載などにより、移住や空き家活用を検討しているターゲット層に向けた効果的な情報発信を行う。

さらに、県外在住者のニーズに応じた物件を確保するため、空き家バンクHPに空き家所有者向けのコンテンツを掲載し、空き家所有者が持つ課題の解消を図ることで、活用可能な空き家の掘り起こし及び空き家バンクへの登録の促進に向けた取組を強化する。

空き家活用推進チームの専門家の派遣により、地域の実情に応じた空き家活用策の検討支援や実践的なアドバイスの実施、空家特措法に基づく市町の行政代執行及び略式代執行の実施に係る技術的な支援等を行うなど、市町や地域が抱える課題解決に向けて取り組む。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：土木管理費 目：建築指導費
担当課	建築課
事業名	福山市三之丸町地区再生促進事業（単県）

目的

県の発展に重要な地区において、まちづくりの中核となる施設を整備することにより、地域の活性化につなげるとともに、県の広域的ポテンシャルの向上を図るため、広域交通結節点として県東部地域の拠点である福山駅周辺地区の再生を支援する。

事業説明

対象者

福山市

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
福山市三之丸町地区の再生の支援 優良建築物等整備事業(国庫補助制度)を活用して、「福山駅前再生ビジョン」に基づき福山駅周辺地区の再生を図ろうとする市に対し、この地区の広域的ポテンシャル向上の観点から補助する。 ア 補助対象事業費：住宅部分を除く、調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費 イ 負担割合：県 1/6(国 1/3、市 1/6) 福山駅前地区のまちづくりの推進(地域政策局) エリアマネジメントの活性化に向けた人材育成等 (事業名：都市圏魅力創造事業 要求額：1,500千円)	22,942	22,942	59 [21,279]
合 計	22,942	22,942	59 [21,279]

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：福山市三之丸町地区における流動客数の増加

((令和4年度目標) 優良建築物等整備事業による施設整備の取組の着実な実施
設計の実施、施設建築物の建設)

実績

中棟：完了

北棟：工事着手(工期：令和3年11月～令和6年3月)

南棟：工事着手(工期：令和4年12月～令和6年3月)

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

優良建築物等整備事業による施設整備は、着実に進んでいる。

令和5年度の実施方針

三之丸町地区の再生が県の拠点性を高める取組となるように、引き続き地域政策局及び福山市と連携して事業の進捗を管理していくとともに、広域交通結節点として県東部地域の拠点である福山駅周辺地区の再生を支援していく。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：土木管理費 目：建築指導費
担当課	都市環境整備課
事業名	市街地再開発事業（一部国庫）【新規】

目的

県の中核拠点性の向上に資する基町相生通地区の市街地再開発事業を支援し、紙屋町・八丁堀地区の活性化に向けたリーディングプロジェクトとしてふさわしい都市空間の整備を図る。

事業説明

対象者

市街地再開発事業の施行者

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
<p>紙屋町・八丁堀地区の活性化の支援（基町相生通地区）</p> <p>市街地再開発事業（国庫補助制度）を活用して、紙屋町・八丁堀地区の活性化に資する事業を実施する施行者に対し、本県の中核拠点性の向上の観点から補助する。</p> <p>ア 補助対象事業費：住宅部分を除く、調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費 令和4年度は調査設計計画費を計上</p> <p>イ 負担割合：県 1/6(国 1/3、市 1/6)</p> <p>広島都心部のまちづくりの推進（地域政策局） エリアマネジメント団体の活動支援などを行う広島都心会議の取組を支援 (事業名：都市圏魅力創造事業 要求額：2,500千円)</p>	221,500	221,500	9,134 [212,366]
合 計	221,500	221,500	9,134 [212,366]

令和4年度の成果目標と実績

事業目標 : 紙屋町・八丁堀地区の活性化に向けた都市空間の整備

(令和4年度目標) 市街地再開発事業による施設整備の取組の着実な実施

調査設計計画の実施

実績 : 調査設計計画に着手した。(令和4年10月~)

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

市街地再開発事業による施設整備に向けた調査設計計画に着手し、紙屋町・八丁堀地区の都市空間の整備に向けた取組が着実に進んでいる。

令和5年度を取組方向

引き続き、広島市と連携しながら、県の中核拠点性の向上に資する本事業を支援し、紙屋町・八丁堀地区の活性化に向けたリーディングプロジェクトとしてふさわしい都心空間の整備を図る。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	都市計画課
事業名	魅力ある「まちなみづくり」支援事業（単県）

目的

本県における集客・交流の促進など地域の賑わい創出に向けて、魅力ある景観等、デザイン性のある都市空間の形成を図るため、市町が行う魅力あるまちなみづくりを支援する。

事業説明

対象者

魅力あるまちなみづくりに取り組む市町

事業内容

モデル地区を選定し、市町が行う魅力あるまちなみづくりを重点的に支援することにより、早期に魅力あるまちづくりを進めるとともに、モデル地区以外の地域への普及を促進する。

宮島口地区(廿日市市)・街道東城路周辺地区(庄原市)、忠海地区(竹原市)、本町西国街道地区(三原市)

(単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
モデル地区 の支援	モデル地区において、ワークショップの運営支援を行うことで、策定されたまちづくりの指針となるデザインコンセプトの具現化に向け、事業推進体制の確立に向けた取組を重点支援する。	4,038	4,038	3,990 [-]
他地域への 普及促進	モデル地区の取組状況などを県内の市町と共有することにより、モデル地区以外への普及を促進する。 まちなみづくり未来勉強会開催による普及促進 県HPによる情報発信【非予算】	2,762	2,762	2,632 [-]
	合 計	6,800	6,800	6,622 [-]

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：

指 標 名	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
魅力ある景観に配慮したまちづくりに取り組む地区数	24地区	38地区 (平成26～令和4年度累計)	38地区 (平成26～令和4年度累計)

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

モデル地区の宮島口地区（廿日市市）、街道東城路周辺地区（庄原市）、忠海地区（竹原市）、本町西国街道地区（三原市）において、策定したコンセプトの実現に向けた取組に対して支援を行った。

宮島口地区では、そぞろ歩きマルシェの開催等の賑わい活動に加え、まちづくり活動の推進組織「宮島口みらい協議会」の拠点施設「BOX」での各種イベントの開催、令和5年3月には、県道厳島公園線が、県内における県道初のほこみち制度（歩行者利便増進道路）に指定され、道路空間を利用した賑わい創出の取組が行われた。

本町西国街道地区では、令和3年8月に策定した「まちなみづくりガイドライン」に沿って、まちなみ環境整備事業（～令和8年）により、本町通りの道路通行形態等を検討するワークショップが開催され、景観形成の取組（建物修景、電線地中化、道路美装化等）が進められた。加えて、まちづくり活動の一環として取組が進む空き家対策として、空き家相談員育成講座が4回開催された。

街道東城路周辺地区では、街歩きイベントなどの賑わい活動が開催され、忠海地区では、景観形成補助金が創設され、景観形成の取組が進められた。

令和4年7月、令和5年3月に、これまでの取組成果を他地域でまちなみづくりに取り組む関係者と共有し、地域間のネットワークづくりを後押しする「まちなみづくりネットワーク未来勉強会」を宮島口地区、本町西国街道地区で開催し、取組の普及促進を図った。加えて、これまでの取組やまちづくり活動のポイントをまとめた「魅力あるまちなみづくりガイドブック」を作成し、県内のまちづくり団体に通知した。

令和5年度の取組方向

引き続きモデル地区の取組に助言を行うとともに、県ホームページ等での情報提供や、未来勉強会の開催等によるネットワークづくりを行うことで、普及促進活動を行い、魅力ある地域環境の創出を図る。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	都市環境整備課
事業名	花と緑の連携推進事業（単県）

目的

第37回全国都市緑化ひろしまフェア（以下、「ひろしま はなのわ 2020」という。）の成果を継承・発展するため、「ひろしま はなのわ 2020」で生まれた全県的なつながりのもと、花や緑の持つ多面的な機能を生かした地域づくりを進める。

事業説明

対象者

県民、地域活動団体、協議会構成団体

事業内容

県、県内23市町及び国で設立した「ひろしま はなのわ 魅力推進協議会」により策定した「ひろしま はなのわ ビジョン」を踏まえ、各市町の花や緑に関する取組を後押しする。

（単位：千円）

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算執行額 [繰越額]
人材育成事業 地域活動団体等へ緑化講師を派遣 全国の好事例を参考にするため、市町を対象に緑 研修会を実施 花や緑の地域活動団体の優れた取組を表彰	507	507	185 [-]
広域連携事業 スタンプラリーを実施し、各地の花や緑のイベン ト等の広域的な連携を促進 花や緑に関する情報の効果的な発信	2,491	2,491	2,491 [-]
合 計	2,998	2,998	2,676 [-]

令和4年度の成果目標と実績

事業目標：

指 標 名	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
花や緑の連携事業（スタンプ ラリー等）に参加した地域活 動団体等主催のイベント数	17 イベント	25 イベント	29 イベント

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

人材育成事業及び広域連携事業とも、ほぼ計画どおり実施した。

「ひろしまはなのわ魅力推進協議会」において積極的に市町に働きかけた結果、花や緑の連携事業（スタンプラリー等）に参加した地域活動団体等主催のイベント数は目標を上回った。

令和5年度の取組方向

令和5年度は、より積極的に地域活動団体等へ緑化講師を派遣し、人材育成に努める。また、引き続きスタンプラリー等を通じて各地の花や緑のイベント等の広域的な連携を促進していく。

令和4年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	営繕課
事業名	魅力ある建築物創造事業（単県）

領域	持続可能なまちづくり
取組の方向	地域と連携し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進

目的

本県のブランドイメージの向上を図るため、魅力ある公共建築物の創造・発信やクリエイティブな人材の育成などを積極的に推進する。

事業説明

対象者

建築関係者（建築家、学生等）、県民

事業内容

（単位：千円）

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
魅力ある公共建築物の創造・発信 広島型建築プロポーザル方式の実施 広島型建築プロポーザル方式の市町への普及及び 技術支援 事業成果（広島型建築プロポーザル実施建物、建 築学生チャレンジコンペ等）の情報発信 ・トークイベント、完成見学会等	3,276	3,276	2,112 [-]
民間建築物への波及 県内の魅力ある建築物の発信イベント「ひろしま たてものがたり」の展開 ・ひろしまたてものがたりフェスタ クリエイティブな人材育成 ・建築学生チャレンジコンペ	119	119	17 [-]
合 計	3,395	3,395	2,129 [-]

令和4年度の成果目標と実績

ワーク目標：

指 標 名	基準値 （令和元年度）	目標値 （令和4年度）	実績値 （令和4年度）
ひろしまたてものがたり サポーター数 ¹	5,240人	7,540人	8,139人

1：各種イベントの延べ参加者数（累計）とSNSフォロワー件数の合計

事業目標：

指 標 名	基準値 （令和元年度）	目標値 （令和4年度）	実績値 （令和4年度）
イベント等参加人数	964人 ²	1,150人	1,209人

2：平成28年～令和元年のイベント参加人数の年間平均を採用

令和4年度の目標と実績の乖離要因・課題

コロナ禍により見学会の中止やイベント規模の縮小をせざるを得なかったが、現地開催だけでなくWEB配信を併用するなど、より参加しやすい開催方法としたこと、建築関係団体からの情報発信やSNSを利用し積極的に情報発信したことにより、目標を達成することができた。

令和5年度の実績と取組方向

令和4年度の実績を踏まえ、現地開催に加えてWEBによる配信など開催方法の多様化を図るとともに、SNSを利用した情報発信や建築関係団体との連携に引き続き取り組む。

また、令和4年度に見送らざるを得なかった見学会の開催やイベント内容の拡充を図るなど、魅力ある建築物の創造・発信等に積極的に取り組むこととする。